

こんにちは! 日本共産党長野市議団です

2023年6月定例議会報告

発行／日本共産党長野市議員団
〒380-8512 長野市緑町1613
長野市役所内 日本共産党控室
TEL・FAX 026-266-7882
E-mail nsjcp@mx1.avis.ne.jp
HP <http://www.naganojcp.assrv.com/>



茶臼山動物園ライオンの丘

切実な市民要求実現の先頭に立って奮闘 市民の付託に応えられる長野市議会をめざします

6月議会が終了しました。今議会は6月8日から23日まで開会され、一般質問を野々村ひろみ、竹内茂、佐藤くみ子各市議が行い、黒沢清一、滝沢しんいち、あべ孝二各市議は常任委員会などで奮闘しました。

新友会議員 またしても委員長辞任に 今期これで3人目

今議会も青木島遊園地廃止問題に絡んで混乱が続きました。一つは、新友会北沢つや議員が青木島遊園地廃止の経過について誤った動画を動画配信サイトで半年以上流し続け、そのことが信濃毎日新聞で報道され、大きな批判を浴び、ついに議会運営委員長と総務委員長を辞任したことです。

さらに辞任直後に、「謝罪は言葉に過ぎない、役職辞任も固執しなければ大した事じゃない。」と発信して、これも大きな響き（ひんしゅく）をかい、議長から注意を受けました。

最大の市長与党会派の委員長が次々と不適切な言動と行動で、これで3人目の辞任の事態に、長野市議会への市民の信頼は大きく傷ついています。新友会に猛省を求めたいと思います。

草津町を侮辱したとして議長が謝罪 小泉一真市議は謝罪せず

今議会の混乱の今一つは、小泉一真議員がツイッターで「草津は長野市、治します!」と投稿したことに關して、議長が議会最終日の閉会挨拶で、草津町に対して謝罪を行ったことです。議会運営委員会では「草津町民への侮辱」であり、言語道断など意見がだされ、小泉一真市議に議長が投稿の削除と謝罪を求めています。ところが小泉市議は、ツイッターの投稿を削除はしたものの、謝罪はせず、反対に議長と議運に対して「削除と謝罪を求めたことは、違法で不当」として、いっさい反省の態度を示さず開き直りました。

今期の任期もあと3ヶ月を切りました。長野市議会が市民の皆さんの付託に応えられるよう日本共産党市議団の役割を自覚して次期選挙に臨んでまいります。

国の言いなりの萩原市長の 政治姿勢いっそう明らかに

萩原市長「マイナンバーカードは必要な仕組み カードの普及に今後

取り組む」

マイナンバーカードはトラブルが続出し、特に健康保険証については命に関わることであり、一旦中止して見直しを求めるべきではないかと質しました。市長は「トラブルは残念に思うが、必要な仕組み。引き続きカードの普及に取り組む。長野市でのトラブルは現段階では確認していない。対応は国と協力して進める」としました。

岸田政権に「心から期待」

また改定マイナンバー法、原発推進法、改定入管法、防衛予算確保法など「悪法製造マシン」のような岸田政権に対する市長の見解については「決断と実行で誰もが安心して暮らし続けられる社会を実現することを心から期待している。」としました。

物価高騰に苦しむ市民への 積極的な支援を 水道料金の減免と住宅リフォーム補助制度の復活を求める

国からの地方創生臨時交付金が交付され、物価高騰対策のための財源は確保されています。「熱中症対策の強化が求められるが、電気代の高

騰を心配して使用を控える方がでることが予想される。幅広く家計を支援することが必要で、水道料金の免除は大変有効と考える。また資材の高騰対策として住宅リフォームへの補助制度も有効。実施を求めたい」と質しました。

財政部長は、臨時交付金は14・2億円となっているとしながら「水道料金の減免は、臨時交付金を使って他都市では行っているところもあるが本市では厳しい。支払い猶予や分割納付の相談には適切に対応していく。現在は個人消費が緩やかに回復しており、住宅リフォーム補助事業は予定していないが、今後の動向を注視しつつ適切に対応していく」としました。十分な財源が確保されていないが市民生活の支援には使おうとしない冷たい対応にあためて市政の根本的な転換が必要と感じました。

和式便器の洋式化・きれいなトイレは緊急課題

小中学校のトイレ洋式化が進められてはいますが、まだまだ遅れています。「もっと早く」と苦情が寄せられ、調査し質問しました。

ある小学校では3階建てワンフロアの中央にトイレがあり、3クラスがその両脇に並びます。6クラスで使うトイレですが、洋式便器は1カ所のみ。使いきれない和式便器に



苦情は当然です。

市内の小中学校で洋式化が済んでいない校舎棟数と改修予定を質問しました。教育次長は、「洋式便器の比率3分の1以下の校舎は28棟あり、4割は5年以内の改修を見込んでいる」と答弁。つまり教室棟だけで考えても10年先でも2割が残ります。さらに特別教室棟や体育館などもあります。

改修を終えたトイレも見学しましたが、床など継ぎはぎでとてもきれいなトイレには程遠く、残念でなりません。小中学校の和式トイレは、令和5年4月1日1,383個が残されています。

自転車用ヘルメット購入に補助を要求 必要性を認めながら「今後の研究」と答弁

自転車用ヘルメット着用努力義務

化がスタートしました。この機会にヘルメット購入に補助金を出し、着用率を高めるよう求めました。

その際、生活保護受給者には無償提供すべきです。生活保護受給者は車の所有すら認められていないのに物価高・受給費の削減で、生活が大変な実態を訴えました。

市は、非装着者に比較し、ヘルメット着用で致死率は2分の1になると重要性を認識しているが、着用率が伸び悩んでいることから助成制度の必要性を研究すると答弁しました。松本市をはじめ他都市ではすでに実施しています。長野市の遅れが鮮明になりました。

生活保護者に対しては、通学や通勤での購入は必要経費と認められて



おり、自己負担が発生しないと説明がありました。しかし多くの生活保護者が使用している生活の足に対しては、独自の支援策が示されませんでした。今後の運動が必要です。

深刻な公共交通への不満、 住民の声を聞き改善を

信州新町でスタートしたオンデマンド交通システムが好評です。中山間地でエリア拡大が検討されていますが、市街地にも要望しました。ぐるりん号は路線への不満が強く、まずは市役所に立ち寄り、バス本数が少ない北長野通りにも必要と要望しました。鬼無里地区を例に挙げ、高齢者用のお出かけパスポートを高校生の通学援助として拡大を求めました。各住民自治協議会が運営している福祉自動車ですが、もう少し柔軟な運行をなど、当面する課題について質問しました。

不満や意見の多い公共交通で、市議会でも特別委員会を設置し取り組んでいるところです。今回の具体的な質問に対しても前向きな答弁はありませんでした。さらに住民の声を聞き公共交通利便性向上に努力します。

豊野の住宅地から騒音事業者撤退

豊野の住宅地の真ん中にある（仮称）豊野防災交流センター予定地に



隣接する廃棄物関連業者は、静かな住環境を脅かしていましたが、5月末に完全撤退をさせることができました。地元の佐藤久美子党市議が市民から相談を受け、昨年の12月議会（次ページ上へ）

でこの問題を取り上げ、振動や騒音、埃や排気ガスによって生活環境が脅かされている実態を明らかにし、行政指導の強化を求めています。

環境部では「主な騒音発生元であった移動式土砂のふりい機や重機などが、騒音規制法で定める施設に該当しないため、法に基づく指導が出来ず騒音の防止を命ずることが出来なかった」と答弁。「ただし、今後法規制の対象とならない場合も住民の気持ちに寄り添い、事業者に説明を尽くすよう求めていく」としました。

被災地の土地利用については課題も多く、行政の関与が必要と考えます。



切実な請願 次々と否決 新友会・公明党

請願	共産党市議団	新友会	公明党	改革ネット	無所属A	無所属B	議決の結果
消費税インボイス制度（適格請求書方式）」の実施延期を求める意見書提出についての請願	○	×	×	○	○	○	不採択
地方財政の充実・強化を求めるくにあて意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	採択
福祉医療制度の格差是正に関する請願	○	×	×	○	○	○	不採択
加齢性難聴者の補聴器購入への公的助成についての請願	○	×	×	○	○	○	不採択
原告勝訴判決に従い直ちに生活保護基準を引き上げることがを要望する意見書を求める請願	○	×	×	○	○	○	不採択
「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願	○	×	×	○	○	○	不採択
国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願	○	×	×	○	○	○	不採択
地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	○	×	×	○	×	○	不採択
「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	○	○	○	○	○	○	採択
学級編制に関する請願	○	○	○	○	○	○	採択

無所属A：小泉一真 無所属B：小林史子

「消費税インボイス制度」の実施延期を求める意見書提出についての請願

日本は中小企業が支えています。中小業者からは「インボイスが導入されたら、商売が立ち行かなくなる」という声が、たくさん聞かれます。

インボイス導入によって年間売り上げ300万円のフリーランスの場合、消費税負担が年13・6万円も増えることを財務省も認めました。

この請願を不採択すべきものとして「標準税率と軽減税率という複数税率の下において、インボイスは、より適正な消費税の課税のために必要な制度である」との意見がありました。しかし、これまで複数税率によって不適切な課税や混乱はありませんでした。

長引く不況の中でこのままインボイス制度を導入すれば、地域経済はますます疲弊し日本経済が今より衰退することは明らかです。

「福祉医療制度の格差是正」「加齢性難聴者の補聴器購入への公的助成」「原告勝訴判決に従い直ちに生活保護基準を引き上げる」などの請願

福祉医療制度の格差是正の是正に関する請願は、長野社会復帰促進会

が提出し、代表者の意見陳述が行われました。精神に障害がある人は就労が難しく、年金と家族の支援で暮らしています。入院医療費を福祉医療費給付の対象にと訴えました。

加齢性難聴者の補聴器購入への公的助成の請願は長野地区社会保障推進協議会が提出し、意見陳述は副会長の前田誠之さんが行いました。超高齢化社会を迎え、補聴器の普及で高齢になっても生活の質を落とさず、心身共に健やかに過ごし、認知症の予防、健康長寿、医療の抑制につながると訴えました。

原告勝訴判決に従い直ちに生活保護基準を引き上げる請願は、長野生活と健康を守る会が提出し、意見陳述は古沢絵美さんが行いました。41年ぶりの物価高騰が続く、国民生活を直撃しています。生活保護基準引き下げの取消しを求める裁判は、11の地裁で違法と勝利判決が出ました。国は判決に従い保護費を元に戻すべきですと訴えました。

しかしこれらの請願は新友会・公明党によって次々と否決され、切実な請願に応えようとしない姿勢にあらためて怒りがわいてきます。

インクルーシブ教育の体制強化を 保護者からの請願に応えて

今議会には、請願第13号「学級編制に関する請願」が三輪小学校の児童保護者から提出され、全会一致で採択され、長野県教育委員会に意見書が送付されました。

三輪小学校では今年度、2年生が3年生に進級する際、児童数が74人で変わらないのに、1学級減級になると説明が行われました。結果的には一名の転入生があり、クラス数は減らされずに済みましたが、大きな矛盾が解決された訳ではありません。

2名の児童が、通常学級から特別支援学級に在籍を移したことによって、普通学級に在籍する72名の児童

インクルーシブ教育とは

人間の多様性の尊重などを強化し、障がい者が精神的及び身体的な能力などを可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。(ウィキペディアより)

数が70名になったために35人学級編成のもとで3クラスから2クラスに減らされることになったのです。もしあのまま減級されれば、特別支援学級の子どもたちも、普通学級で学ぶ授業が増えていく中でクラスの数人は、25人から37人へと10人以上も増えることになったのです。車椅子などを使う子どもにとっては大変危険です。また障害を持たないと思われる子どもたちもさまざまな困難を抱えており、子どもにとっても担任教師にとっても大きな負担です。本来なら、特別支援学級に通う子どもは、通常学級と特別支援学級とそれぞれでカウントすべきです。今インクルーシブ教育の推進が求められています。しかし支える体制が保障されていない中で、子どもたちやその保護者、また教職員の皆さんも大変苦悩しています。保護者の皆さんが出されたこの請願は、大変大きな意味のあるものであったと感じたいします。

今回の三輪小学校のケースは偶然にもギリギリのところで転入生が1人あり、減級にはなりませんでし

た。しかし教職員の数が足りず、4月中は教頭と少人数学習指導担当の教員が代わりを務めたとのことでした。現在は学級担任の教員が配置されています。

先生方の苦悩にも心が痛みます。今回のケースは決して特殊ではありません。支援が必要な子どもたちが年々増えている中で、インクルーシブ教育の推進を進めるにはもっともっと手厚い支援体制の強化が必要です。

長野県への改善要望とともに、長野市教育委員会としても独自にも教員配置の拡充、さまざまな障害を持つ子どもたち、生きづらさを抱えた子どもたち、ヤングケアラーをはじめ家庭への支援も必要な子どもたちなど一人ひとりに対応できる専門性を持った教職員の育成など、取り組むことを要望しました。

勇気を持って立ち上がった保護者と学校関係者の努力に込め、この請願採択が長野市教育委員会の本格的なインクルーシブ教育に向けての転機となることを心から願います。

編集後記

マスクをする人も減少傾向にあります。長野市内のホテルで百人規模の結婚式を挙げたいと申し込んだら、人手不足で受けられないと断られたそうです。先日、我が家族のお祝いで揃って温泉に行きましたが、やはり人手不足で、部屋での宴会は出来ないと言われました。ホテルでは、夕食、朝食、全てバイキングが基本のようです。目に見えないコロナが、ここ三年間でいろんな事を変えてしまいました。日本は人口減少が進むばかりです。あらゆる分野で外国人に頼らなければならないだろうし、国内もグローバル化したり、日本人も英語で話さなければならぬ時代がすぐそこまでやって来ているような気がします。

(事務局 角井)



(団 長)
野々村ひろみ
●建設企業委員会
●公共交通対策調査研究特別委員会委員長
●議会運営委員会
●長野広域連合議会（総務福祉委員）



(副団長)
あべ孝二
●福祉環境委員会
●水道事業広域化調査研究特別委員会
●長野市都市内分権審議会
●農業委員



(副団長)
佐藤くみ子
●経済文教委員会
●災害対策等調査研究特別委員会
●議会報編集委員会



(幹事長)
黒沢清一
●総務委員会
●観光戦略調査研究特別委員会
●長野市都市内分権審議会
●千曲衛生施設組合議会



滝沢しんいち
●建設企業委員会委員長
●水道事業広域化調査研究特別委員会
●議会運営委員会



竹内茂
●経済文教委員会
●公共交通対策調査研究特別委員会
●長野広域連合議会（環境委員）
●長野都市計画審議会